



アーツ前橋開館記念シンポジウム

入場無料

期日

二〇二四年一月十一日(土)午後一時開場 二時開演

会場

前橋テルサホール(前橋市千代田町2-5-1)

ア ー ツ と 出 会 い

Kang Sang-jung

Kazuhiko Hachiya

Sehei Yamada

Fumihiko Sumitomo

Miki Sumiyoshi

パネリスト

姜尚中 / 八谷和彦
山田創平 / 住友文彦

司会

住吉美紀

参加方法

当日先着順(定員500名)

主催

アーツ前橋

www.artsmaebashi.jp



助成

平成25年度文化庁地域発
文化芸術創造発信イニシアチブ



お問い合わせ

アーツ前橋

TEL 027-230-1144 FAX 027-232-2016

2013年10月26日、アーツ前橋はグランド・オープンしました。

美術館構想が始まってから約6年の準備期間を経て、前橋の新たな芸術文化の発信拠点が、中心市街地に誕生しました。

アーツ前橋は、「**創造的であること／みんなで共有すること／対話的であること**」を活動コンセプトに、アーティストだけではなく、この施設に関わる全ての人々がアートを通じて創造的な日常を発見し、また様々な人の考えや感性をここで開催されるイベントなどを通じて共有していただけるような新しいタイプの施設を目指しています。

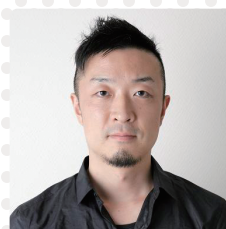
開館を記念して、「アートと出会う」と題したシンポジウムを開催します。「日曜美術館」の司会を務めた姜尚中さんをはじめ、アーティストで、SFアニメの飛行機を実際にジェットエンジンで飛ぶ飛行機として作る《OpenSkyプロジェクト》などで知られる八谷和彦さん、アーティストとの共同作業をおこなう都市社会学者の山田創平さんらに、アートとの出会いは、まちや人々に何をもたらすのかについて語っていただきます。

■ パネリスト



姜尚中 (政治学者)

1950年生まれ。東京大学大学院情報学環教授を経て、2013年より聖学院大学全学教授。専攻は政治学・政治思想史。著書に『マックス・ウェーバーと近代』『オリエンタリズムの彼方へ』『ナショナリズム』『東北アジア共同の家をめざして』『日朝関係の克服』『在日』『姜尚中の政治学入門』『悩む力』『リーダーは半歩前を歩け』『母-オモニー』『あなたは誰?私はここにいる』『続・悩む力』ほか。共著に『ナショナリズムの克服』『デモクラシーの冒険』『戦争の世紀を超えて』『在日一世の記憶』ほか。



山田創平 (都市社会学者)

1974年群馬県高崎市生まれ。現在、京都精華大学専任講師。名古屋大学大学院博士課程修了。文学博士。専門は地域研究(芸術と地域、マイノリティと地域、都市空間論)。厚生労働省所管の研究機関や民間のシンクタンク勤務を経て現職。著書に『ジェンダーと「自由」-理論、リベリズム、クエア』(共著、2013)、『ミルフィユ04-今日のつくり方』(共著、2012)、『ミルフィユ05-技と術』(共著、2013)などがある。各地のアートプロジェクトで、リサーチやコンセプトデザインに関わる他、自らも作品を制作している。2008年に名古屋大学名誉修了者に選ばれている。

■ 司会者



住吉美紀 (フリーアナウンサー)

国際基督教大学卒業。1996年 アナウンサーとしてNHK入局。「プロフェッショナル 仕事の流儀」などの人気番組を担当。2011年4月よりフリーに。現在はTOKYO FM「Blue Ocean」(月～金 9:00～)、サンデー毎日「すみきちのぶっちゃけ堂」対談連載など、幅広く活躍。著書に「自分へのごほうび」。ヨガの指導者資格を持つ。



八谷和彦 (アーティスト)

1966年4月18日(発明の日)生まれの発明系アーティスト。九州芸術工科大学画像設計学科卒業、コンサルティング会社勤務後、(株)PetWORKsを設立。現在にいたる。作品に「視覚交換マシン」や「ポストベット」などのコミュニケーションツールや、ジェットエンジン付きスケートボード《エアボード》やメーヴェの実機を作ってみるプロジェクト《オープンスカイ》などがあり、作品は機能をもった装置であることが多い。現在、書籍『ナウシカの飛行機、作ってみた』が幻冬舎より発売中。



住友文彦 (アーツ前橋館長)

アーツ前橋館長。これまで東京都現代美術館などに勤務し、「川俣正[通路]」(東京都現代美術館/東京/2008)、メディアシティソウル2010(ソウル市美術館)、あいちトリエンナーレ2013などを企画。また、中国を巡回した「美麗新世界」展(2007年)や「From the Postwar to the Postmodern, Art in Japan 1945-1989: Primary Documents」(Museum of Modern Art New York, 2012、共編著)などで、日本の美術を海外へ紹介する。

公共機関

JR前橋駅から徒歩約15分
上毛電鉄中央前橋駅から徒歩約15分

自動車

関越自動車道 前橋ICから車で約10分

※ 駐車場は、市営パーク千代田、市営パーク5番街をご利用ください。駐車券に無料処理いたします。

アーツ前橋開館記念展「カゼイロノハナ 未来への対話」

会 期：2013年10月26日(土)から2014年1月26日(日)

開館時間：11:00から19:00まで (入館は閉館の30分前まで)

休 館 日：水曜日、年末年始 (12月28日から1月4日)

観 覧 料：大人800円(600円) 大学生600円 高校生以下無料

※ 身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳をお持ちの方は無料(付添人1人まで無料)
※ ()内は10名以上の団体料金

